

令和二年度大阪信愛学院高等学校 入学試験問題

《 国 語 科 》

《 設問の都合で、本文及び表記を一部改めています。字數制限のあるものは、指示がない限り、句読点は含むものとします。》

〔二〕次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

アメリカの大学で教えていた頃、数学の力では日本人学生にはるかに劣るむこうの学生が、論理的思考については実によく訓練されているので驚かされた。大学生でありながら、(一)×(二)もできない学生が、(①) 整然とものを言うのである。議論になるとその能力が際立つ。相手の論理的飛躍をシテキする技術にかけては小憎らしいほど熟練しているし、自らの考えを筋道立てて表現するのも上手だ。

これは学生に限られたことでなく、暗算のうまくできない店員でも、話してみると驚くほどしっかりした考えを持っているし、スポーツ選手、スター、政治家などのインタビューを聞いても、実に(②) を得たことを明快な論旨で語る。

これとタイショウ的に日本人は、数学では優れているのに論理的思考や表現には概して弱い。日本人学生がアメリカ人学生との議論になって、(x) 太刀打ちできずにいる光景は、何度も目にしたことだった。語学的ハンデを差し引いても、なお余りあるレツセイぶりであった。

① 当時、欧米人が「不可解な日本人(Inscrutable Japanese)」という言葉をよく口にした。不可解なのは日本人の思想でも宗教でも文学でもなく(これらは彼らによく理解されつつあった)、実は論理面の未熟さなのであった。少なくとも私はそう理解していた。科学技術で世界の一流国を作り上げた優秀な日本人が、論理的にものを考えたり表現する、というごく当たり前の知的作業をうまくし得ないでいること。それが彼らにはとても信じられないことだったのである。

日本人が論理的思考や表現を苦手とすることは今日も変わらない。ボードレス社会が進むなか、※₁阿吽の呼吸とか※₂腹芸は外国人に通じないから、どうしても「論理」を育てる必要がある。いつまでも「不可解」という※₃婉曲なヒナンに甘んじているわけにはいかないし、このままでは外交交渉などでは大きく国益を損なうことにもなる。

数学を学んでも「論理」が育たないのは、数学の論理が現実世界の論理と甚だしく違うからである。数学における論理は真(正当性100パーセント)か、偽(正当性0パーセント)の二つしかない。真白か真黒かの世界である。現実世界には、絶対的な真も絶対的な偽も存在しない。すべては灰色である。殺人でさえ真黒ではない。死刑がある。殺人は真黒に限りなく近い灰色である。

(y)、数学には公理という万人共通の規約があり、そこからすべての議論は出発する。すべての人間がそれぞれの公理を用いていると行ってよい。

現実世界の「論理」とは、※₄普遍性のない前提から出発し、灰色の道をたどる、というきわめて頼りないものである。② そこでは思考の正当性より説得力のある表現が重要である。(z)、「論理」を育てるには、数学より筋道を立てて表現する技術の修得が大切ということになる。

③ これには、国語を通して学ぶのがよい。物事を主張させることである。書いて主張させたり、トウロンで主張させることもつとも効果的であろう。筋道を立てないと他人を説得できないから、自然に「論理」が身につく。読書により豊富な語彙を得たり適切な表現を学ぶことも、説得力を高めるうえで必要である。

日本人が※₅口舌の徒になる必要はないが、マイクをつきつけられたガイトウの若者、スポーツ選手、芸能人、などが実質のあることをほとんど何も言えないのを見るにつけ、国語教育について考えさせられる。

(『祖国とは国語』 藤原正彦)

- ※₁ 阿吽の呼吸 二人以上で一緒に物事を行うときの互いの微妙な気持ち。
- ※₂ 腹芸 直接的な言葉や行動によらず、度胸や経験で物事を処理すること。
- ※₃ 婉曲 表現の仕方が遠回しなこと。
- ※₄ 普遍性 すべての物事に通じる性質。
- ※₅ 口舌の徒 口達者だが、実行力が伴わない人。

問一 二重傍線部ア「シテキ」・イ「タイショウ」・ウ「レツセイ」・エ「ヒナン」・オ「トウロン」・カ「ガイトウ」を漢字に改めなさい。

問二 () ①②に適当な漢字をそれぞれ入れなさい。ただし、①は漢字二字を補うことによって四字熟語になり、②は漢字一字で、「道理にかなう」という意味になります。

問三 () x y zに入れるのに最も適当な語を次の選択肢の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア まるで イ すなわち ウ たとえば エ なお オ そのうえ

問四 傍線部①「不可解な日本人」とありますが、欧米人にとって、日本人のどのようなところが「不可解な」のでしょうか。文中から五字以上十字以内で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部②「灰色」とはどのようなことの比喩ですか。それを説明している箇所を本文中から二十字以内で探し、初めの五字と終わり五字を抜き出して答えなさい。(句読点は含みません。)

問六 傍線部③「これ」の指示する内容を文中から過不足なく抜き出して答えなさい。

問七 次の文を入れるのに最も適当な場所はどこですか。その箇所の直前の五字を抜き出して答えなさい。

現実世界には公理はない。

問八 次の選択肢の中から、この文章に合致しているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本人が論理思考や表現を苦手とするのは、はっきりものを言わない日本人の思想による。

イ 論理的思考を育てるには、まず数学を学んで論理的思考を身につけるべきである。

ウ 読書により豊富な語彙を得たり、適切な表現を学ぶことは必要なことである。

エ 現実世界において、思考の正当性と説得力のある表現こそが大切である。

(二) 次の小説の主人公「わたし」は、数年前に七歳下の弟・真哉を亡くしています。問題文を読み、後の問いに答えなさい。

Ⅰ 急なだんだん坂が繁みのなかをどこまでも続いて、頭上にかぶさった葉群を透かして碧い天が見えた。石段のひと足ごとに天は近くなる。やがて木の間が空いて真上に夏雲がぼつかりと浮かんだ。それは手を伸ばせば届きそうなほど近くにあった。海風に吹かれ、雲のかたちは (x) 変化する。祖母の家の裏手の山々をのぼり、蟬をとりながら、 (y) 林を抜けて視界のひらけたところへ出た。細い石段が頂上へ向かって伸びている。「天へ近づく階段だね」ムジヤキにはしやく弟の声が、カラツとかわいた夏の空に響いた。雲の影が足もとの硬い地面を流れてゆく。弟が肩から提げた虫とりカゴのなかでは、クシンして捕まえた蟬がジジツ、ジジツと無念の啼き声をたてている。蟬の標本を作ると意気込んでいたのだが、途中で行き会った同年代の土地の少年たちに、「蟬は五歳の鼻たれにも捕まる。オレらは断然銀ヤンマだ」と悪気もなく言われて、もうずっと黙りこんでいたのだ。その彼がしばらくぶりに発したのが、先のことばだった。天に一番近いところでカゴから蟬を放し、風に乗っておちるようには飛び去るのを見送った。後にはついでに拾った空蟬だけが残った。

Ⅱ ……あれは弟が七歳の夏だった。わたしは高校受験をひかえた中学三年で、祖母の家で弟とのんびり遊んでいる場合ではなかったのだが、家にいるのも落ちつかない事情があった。※₂比和さんのおじさんが夏前に亡くなり、おばさんのおじさんが夏前に入ったところ、弟はいつのまにか内緒話のように声をひそめる癖がついてしまった。やがてふつうに話そうとしても声が出なくなり、あわてて医者に診せた。どこにも異常はなく、※₃心因性だろうというのでしばらく家を離れてようすをみるようになった。医師の診断どおり、祖母の家へ来てまもなくもとに戻った。通勤電車のなかで、夏休みの小学生の姿を見かけて、そんな昔のことを思い出した。わたしにとって真哉はいつまでも小学生のままだ。

Ⅲ 日曜日には、三ノ橋にある教会の鐘が鳴る。行列へ無理やりからだをねじこむ人のように、ビルとビルに建物の前半分だけ

を挟まれた古めかしい教会堂がある。そこでは隔週の日曜日に扉をカイホウして朝食のサーヴィスをしている。塩味パンとひとかけのチーズ、それにミルクスープが配られる。とろみのあるコンソメスープに牛乳を加えて煮込んだものだ。交差点も高速道路の架橋も立ち並ぶ商業ビルも、※4尖塔から鐘の音のふる朝は少しだけいつもとちがう景色に見えた。休日の朝は車の交通量も少なく、まだ半分眠った街角で軽食堂だけが店をあげている。歩道には卵とバターと珈琲の薫りがただよった。

(『ユーモレスク』 長野まゆみ)

- ※1 空蟬 セミの抜けがら。
- ※2 比和さん 隣家の住人の姓。
- ※3 心因性だろう 心に原因があるのだろうか、の意。
- ※4 尖塔 高く上がった塔。

問一 二重傍線部ア「ト(り)・イムジャキ」・ウ「提(げ)」・エ「クシン」・オ「テイネイ」・カ「カイホウ」のうち、漢字については読みを記し、カタカナは漢字に改めなさい。

問二 波線部 a「カラツと」・b「行列へ無理やりからだをねじこむ人のように」・c「まだ半分眠った街角には」には、それぞれ何という表現技法が用いられていますか。次の選択肢の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 直喩 イ 隠喩 ウ 擬態語 エ 擬音語 オ 擬人法

問三 () x・yに当てはまる語を次の選択肢の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 時どき イ 刻々と ウ いつしか エ いつでも

問四 傍線部①「オレらは断然銀ヤンマだ」とはどういう意味ですか。それがはっきり分かるように、「銀ヤンマ」という言葉を用いて、「銀ヤンマだ」を言い換えなさい。

問五 傍線部②「もうずっと黙りこんでいた」のはどういう気持ちの表れですか。理由として適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 頂上へ続く石段に、天への階段、つねに死を連想してしんみりする気持ち。
- イ 悪気のない土地の少年たちにセミの魅力を主張しても仕方がないというあきらめ。
- ウ 都会っ子としては十分に刺激的だった蟬とりをからかわれて、しよげる気持ち。
- エ 標本にするつもりで捕まえた蟬がせつなく鳴くため、目的を果たしてよいのか迷う気持ち。

問六 傍線部③「家にいるのも落ちつかない事情があった」について、二人が祖母の家で過ごすことになった理由を四十字以内で説明しなさい。

問七 本文をⅠ～Ⅲの三段落構成と見た場合、各段落についての説明として適当なものは次のどれですか。次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア Ⅰは「わたし」による回想、Ⅱは「わたし」の現在。
- イ Ⅰは「わたし」による想像、Ⅱは過去の事実。
- ウ Ⅰは現在の事実、Ⅱは「わたし」が想像する未来。
- エ Ⅰは現在の「わたし」が夢見る光景、Ⅱは「わたし」の現在。

問八 弟を失った「わたし」が現在感じている「むなしさ」が最も象徴的に表れた一文をⅠの文中から探し、初めの五字を抜き出して答えなさい。

(三) 次の文章は、国司である大隅守が、郡司と話している場面です。読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、※1大隅守なる人、国の政を※2したため行ひ給ふ間、郡司のしどけなかりければ、「召しにやりて戒めん」といひて、先々の様に、しどけなき事有りけるには、罪に任せて、重く軽く戒むる事ありければ、一度にあらず、たびたびしどけなき事あれば、重く戒めんとて召すなりけり。「ここに召して、率て参りたり」と、人の申しければ、先々するやうにし伏せて、尻、頭にのぼり居たる人、※3答を設けて、打つべき人設けて、先に人二人引き張りて、出で来たるを見れば、頭は黒髪も混じらず、いと白く、年老いたり。

見るに、※4打ぜん事いとほしく覚えければ、何事につけてかこれをゆるさんと思ふに、※5言つくべき事なし。過ちどもを片はしより問ふに、ただ老を※6高家にて※7いらへをる。いかにしてこれを許さんと思ひて、「おのれはいみじき盗人

かな。※。歌はよみてんや」といへば、「はかばかしからず候へども、よみ候ひなん」と申しければ、「さらばつかまつれ」といはれて、程もなく、※。わななき声にてうちいだす。

年を経てかしらの雪はつれどもしもと見るにぞ身は冷えにける

といひければ、いみじうあはれがりて、感じて許しけり。人はいかにも情はあるべし。

(『宇治拾遺物語』 日本古典文学大系)

- ※1 大隅 現在の鹿児島県東部。
- ※3 答 刑罰用のむち。
- ※5 言つく 口実にすること。
- ※7 いらへ 返事をする事。
- ※9 わななき声 ふるえ声。
- ※2 したため 治めること。
- ※4 打ぜん事 打ちたたこうとすること。
- ※6 高家にて 口実にして。
- ※8 歌はよみてんや 歌は詠めるか。

問一 二重傍線部ア「やう」、イ「いとほしく」を現代かなづかいに直しなさい。

問二 傍線部①「しどけなかりければ」の意味として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 怠慢だったので
- イ 有能だったので
- ウ 格別だったので
- エ 平凡だったので

問三 傍線部②「召すなりけり」とあるが、誰が誰を「召す」のかを、この内容として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 大隅守が打つべき人を
- イ 大隅守が郡司を
- ウ 郡司が大隅守を
- エ 打つべき人が郡司を

問四 傍線部③「はかばかしからず候へども」とありますが、この内容として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 気乗りはしませんが
- イ 自慢するわけではありませんが
- ウ 上手ではありませんが
- エ この場にふさわしくありませんが

問五 傍線部④「しもと見る」の「しもと」には二つの意味が掛けられています。一つは、「答」ですが、もう一つの意味は何でしょうか。和歌の意味から考えて、次の()に漢字一字を考えて入れなさい。

「答」と()と

問六 傍線部⑤「ぞ」とありますが、この語があるために文末の活用形が変わる法則を何と言いますか。四字で答えなさい。

問七 傍線部⑥「許しけり」とありますが、その理由として最も適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 郡司が必死になって許しを請う姿に根負けしたから。
- イ 郡司が詠んだ歌が自分の父を連想させ、心が動いたから。
- ウ むちでたかかれる郡司の姿があまりにかわいそうだったから。
- エ 郡司の今の心境を詠み込んだ歌に、感動したから。

問八 本文の教訓として「大事である」と述べられているものは、「情(なさけ)」です。この言葉の言い換えとして最も適当なものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 年寄りをいたわるあわれみの心
- イ 小さな子供に対する慈愛の心
- ウ 思いをその場に応じた和歌にできる風流心
- エ どんな場合にも和歌を詠むのんびりした心

問九 この話は『宇治拾遺物語』にあります。次の作品のうち同じジャンルの作品はどれでしょうか。次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 奥の細道
- イ 源氏物語
- ウ 今昔物語集
- エ 万葉集

* 字数制限のあるものは、句読点や「」も一字として数えます。

受験番号

(一)

問一	カ 街頭	ア 指摘
	②は 的でも可	
	イ 対照	ウ 劣勢
	エ 非難	オ 討論
× 6		

問二	① 理路 整然	② 当を得た
② × 2		

問三	③ ア
	④ オ
	⑤ イ
② × 2	

問四	論理的な未熟さ	③
問五	絶対的な真の存在しない	③

問六	筋道を立てて表現する技術の修得	④
----	-----------------	---

問七	出発する。	④
問八	ウ	④

(二)

問一	カ 開放	ア 探り	② × 6	イ 無邪気	ウ 提げ	エ 苦心	オ 丁寧
	ウ	ア					
問二	a ウ	b ア	c オ	① × 3	問三	x イ	y ウ
① × 2							

問四	オしらは断然 銀ヤンマをねらうよ	③
----	------------------	---

問五	ウ	②
----	---	---

問六	離れ	声が出なく
	す	な
	を見る	た弟のために、
	た	し
	か	ば
	ら	ら
	。	く
	③	家
を		

問七	ア	③
問八	後には	つ
い ②		

(三)

問一	ア よう	② × 2
イ いとおしく		

問二	ア	③
問三	イ	③
問四	ウ	③

問五	霜と	④
問六	係り	②
問九	ウ	

問七	エ	③
問八	エ	④
問九	ウ	④